



会議で発言したくなるコーチングスキルとは vol. 1

会議の成功は、出席者から情報や英知をいかに引き出すかに左右されます。そこで、会議を運営する上でコーチングで使われる「聞く」スキルを使い、参加者から発言を引き出す方法をご紹介します。

◆ 日本人が会議で発言しない理由

欧米のビジネスマンからよく聞かれる質問で、「日本人はなぜ会議で発言をしないのか？」というのがあります。確かに日本人は発言する際は、「正しいこと」を発言しようとするため、相手の言うことを最後まで聞き、考えてから話す傾向があります。逆に欧米、特にアメリカでは「考えながら話す」傾向があり、まず「話しながら」ことを進めていきます。企業がグローバル化している今、コミュニケーションの違いは大きな課題になっています。コミュニケーションの背景やルールの違いがわかると、少し自由に話せるようになります。

これは何もグローバルな企業だけの課題ではありません。会議での発言が少なく、決まった人たちだけが発言を繰り返したり何も新しいことに進展せず、堂々巡りの会議は日常茶飯事。それは「誰もが自由に話す」場をうまく作り出していない可能性があります。そこで、会議を運営する上でコーチングで使われる「聞く」スキルを使い、参加者から発言を引き出す方法をご紹介します。

◆ 進行役の「聞き方」で会議の成果は大きく変わる

会議をうまく振興するために使える「聞く」スキル。このスキルは相手の発言を促すものであるということがポイントになります。進行役が聞き上手だと多くの発言を促すことができ、会議は有意義な場となります。聞き上手な会議進行に、次のことに取り組んでみましょう。

● 話をさえぎらない

人は話す何倍ものスピードで考えています。すなわち、考えていることのほんの一部しか言葉にしていません。相手の話をさえぎってしまうと、伝えたいことに到着する前に打ち切ってしまうことになり、話すモチベーションが下がります。

「もう少し詳しく聞かせて」「それで」「…と言っているのはどういう意味ですか？」など、少し先のことまで話させるように促すことです。

● 話の趣旨を聞き分ける

話を聞くときは、その人が何を目的で話しているのかに注意して聞きましょう。たとえば、何か問題について話しているときに、解決したくて話しているのか原因を追及するために話しているのかでは、本人が求める結論は異なります。

「ここでは事象をたくさん出しますか？それとも対応策をだしますか？」など目的を見極め、具体化する質問を投げかけて明瞭にしましょう。

上記の他に 以下の取り組みがありますが、来月号で詳しくご紹介いたします。

- 対立するのではなく、隣に並んだ気持ちで聞く
- 話し手と同じ言葉を使う
- 決めつけずに質問をする

コーチングガイドより

「いくら自分に完璧を求めても、完璧な人間なんてどこにもいない。

結局、自分や他人の失敗から学んでいくしかないんだ。

By アイルトンセナ

そうなんや。完璧な人間なんておらん。

みんな不完全なんや。

しかし、失敗から、学んでいくと人間は大きくなる。

痛い思いをすればするほど、人にやさしくなれて、自分に強くなる。

暑い暑いと文句を言うよりも、いま汗をかける健康体の自分に感謝しよう。

by しもやん

◆ 鍋不要！レンジで作る、かぼちゃスープ

材料(2人分)…「かぼちゃ」1/4個 「玉ねぎ」1/4個 「バター」10g

「塩」小さじ1/2 「こしょう」少々 「スパイス」少々 「砂糖」少々 「牛乳」200cc

1. かぼちゃは種とわたをとり、ラップでつつみ、600wのレンジで5分加熱します。竹串がすっと通ればOKです。

加熱したかぼちゃはスプーン等を使って、皮から実を取り出します。

2. 玉ねぎはみじん切りにし、大きめの耐熱ボウルにバター、塩小さじ1/4、コショウ少々とともに入れ、ラップをかけて、600wのレンジ3分加熱します。

3. 加熱した玉ねぎをさっと混ぜたら、かぼちゃを加え、滑るようにして良く混ぜます。

4. 牛乳を加え、混ぜます。味を見て塩小さじ1/4、砂糖、スパイスを振り入れます。

冷蔵庫で冷やして、冷製スープに。レンジで加熱で、ホットスープとしても！



24時間テレビに参加してきました。沢山の方に御協力頂き 楽しいイベント出店となりました。募金も沢山集まり 寄付をしてきました。少しでも社会のお役に立てればと思います。

